

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		市債等管理事務		担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2713		
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり		根拠法令 個別計画等	地方自治法、地方財政法					
	小項目	3	行財政運営の推進								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要		市財政の計画的な運営のために、市債について起債や借入先、借入額の調整、利子払い等の管理を行うことにより円滑な財政運営の確保を図るものである。この事業において、過去の施設建設事業の財源として借り入れた市債の元金償還および利子支払いを行っている。なお、市債を発行することは、負債が発生する一方、後年度に償還することで「住民負担の世代間での公平」が図られる。									
目的 ※何のために		市財政の計画的な運営のため									
対象 ※誰・何を対象に		市債									
手段 ※どのように		起債や借入先、借入額の調整、市債の利子支払いをする。									
成果 ※何を求めるか		円滑な財政運営の確保を図る。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)	
		一般会計 11	公債費		1	公債費		1	元金	元金償還金	2,763,044,476
		一般会計 11	公債費		1	公債費		2	利子	利子支払金	225,089,104
本事業の 主な業務		・起債(県との協議、申請)							・		
		・借入先、借入額の調整、申し込み							・		
		・縁故債の借入							・		
		・市債の元金償還							・		
		・市債の利子支払い							・		
		・一時借入金							・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		元金償還・利子支払い	元金償還・利子支払い	元金償還・利子支払い	元金償還・利子支払い	元金償還・利子支払い	元金償還・利子支払い
事業費	予算(現額)	2,788,468,000	2,730,179,000	2,902,780,000	2,818,554,000	2,988,932,000	3,222,819,000
	決算額	2,788,276,656	2,730,135,357	2,846,388,061	2,817,530,574	2,988,133,580	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	47,436,239	77,379,847	38,293,000	52,391,011	85,838,836
	一般財源	2,740,840,417	2,652,755,510	2,808,095,061	2,765,139,563	2,902,294,744	3,191,483,000
人件費	従事職員数(人)	0.61	0.58	0.48	0.58	0.58	0.78
	人件費相当試算※	4,745,190	4,513,560	3,773,280	4,718,880	4,501,911	6,342,451
総事業費試算		2,793,021,846	2,734,648,917	2,850,161,341	2,822,249,454	2,992,635,491	3,229,161,451

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	元金償還額	目標値	百万円	2483. 2	2454	2594	2546	2687. 75	3009. 03	
		実績値	2489. 13	2458. 88	2597. 44	2583	2763. 04	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			毎年度の予算において、適切に公債費を見込む / 目標値＝当初予算、実績値＝決算						
	実績値の算出式									
活動指標 2	利子支払額	目標値	百万円	334. 37	301. 78	308. 78	306. 75	269. 18	229. 53	
		実績値	299. 14	271. 24	248. 95	234. 53	225. 09	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			毎年度の予算において、適切に公債費を見込む / 目標値＝当初予算、実績値＝決算						
	実績値の算出式									
成果指標 1	実質公債費比率	目標値	%	25	25	25	25	25	25	
		実績値	0	0	0	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値には早期健全化基準の数値を表示し、この数値未満を目標とする / 財政健全化法						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	元金償還額及び利子支払額に関する予算を適切に見込み、多数の償還事務を正確に行い、円滑な償還事務を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	成果指標は財政健全化法に基づく、「実質公債費比率」を設定した。本指標は市の標準的な一般財源の規模を表す標準財政規模に対する市債の償還費の割合を表し、市債の償還費に一般財源がどの程度用いられているかを判断することができる。同法に基づく早期健全化基準を下回り良好な水準である。
			評価者 財政課 財政係長 堀口浩正

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	起債の手続きにあたっては、関係各課と連携し、多数の申請・協議を円滑に実施した。また、償還業務についても関係各課と連携し、正確且つ効率的に実施した。
			評価者 財政課 財政係長 堀口浩正

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	市債等管理事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2713
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		大規模な建設事業等は、財源に市債を活用し、世代間の負担の公平性や財政負担の平準化を図っている。また、合併特例期間中は交付税算入率等が有利な合併特例債を最大限活用し、実質的な負担軽減に努めている。 この結果、各種財政指数は良好な状況にあるが、合併特例債の活用可能残額が僅少となる中、市債への過度な依存は財政硬直化を招くため、引き続き、市債残高や各種指標の動向に留意し、適切な活用を図り、各種計画の実現と持続可能な財政運営の両立を図る。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	財政課長 及川勝隆				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	元金償還額																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td>2500</td><td>2400</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>2500</td><td>2400</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td>2500</td><td>2400</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>2500</td><td>2400</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>2500</td><td>2400</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>2500</td><td>2400</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	平成29年度	2500	2400	平成30年度	2500	2400	平成31年度	2500	2400	令和2年度	2500	2400	令和3年度	2500	2400	令和4年度	2500	2400
年度	目標値	実績値																						
平成29年度	2500	2400																						
平成30年度	2500	2400																						
平成31年度	2500	2400																						
令和2年度	2500	2400																						
令和3年度	2500	2400																						
令和4年度	2500	2400																						
区分	活動指標 2	指標名	利子支払額																					
<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>平成29年度</td><td>350</td><td>300</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>300</td><td>280</td></tr><tr><td>平成31年度</td><td>300</td><td>250</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>300</td><td>230</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>280</td><td>220</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>230</td><td>220</td></tr></table>				年度	目標値	実績値	平成29年度	350	300	平成30年度	300	280	平成31年度	300	250	令和2年度	300	230	令和3年度	280	220	令和4年度	230	220
年度	目標値	実績値																						
平成29年度	350	300																						
平成30年度	300	280																						
平成31年度	300	250																						
令和2年度	300	230																						
令和3年度	280	220																						
令和4年度	230	220																						